

地域ヘルスプロモーション病院を目指して —「地域連携の会」報告—

地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター 嶋田雅子 川畑輝子 中村正和
台東区立台東病院・老人保健施設千束 楠本直紀 高橋麻衣子 廣田謙一 中野博美 山田隆司

「地域連携の会」とは

台東区立台東病院・老人保健施設千束（以下、台東病院）は、地域包括ケアの推進・強化を図るために、行政や医師会、介護事業者等の関係者を招いて情報共有・交流を深める「地域連携の会」を2015年から毎年開催している。

今年で5回目となる「地域連携の会」は2019年2月25日に開催された。

参加者は、浅草医師会、下谷医師会に所属する病院や診療所、近隣の診療所や病院、薬剤師会、歯科医師会、居宅介護支援事業所、訪問看

護ステーション、特養施設、地域包括支援センター、台東区健康部・福祉部のさまざまな職種の関係者127名と台東病院の職員40名であった。

当日のプログラムを表1に示す。

例年、第一部は、台東病院の機能や活動について報告し、第二部は参加者と意見交換や交流を図ることを目的とした懇親会を開催している。

今回の「地域連携の会」では、2019年度からの3つの運営方針の柱の1つに位置づけた「地域ヘルスプロモーション病院としての取り組み」を地域の関係者に紹介し、今後の協働を呼びかけることを目的として、第一部のプログラムが組まれた。本稿ではその内容について紹介する。

表1 「地域連携の会」プログラム

	時間	内容
第一部	19:30～	開会の挨拶 台東病院・老健千束 管理者 山田 隆司
	19:35～	ご挨拶 浅草医師会会長 下谷医師会会長 台東区保健部長
	19:50～	台東病院・老健千束のこれから 台東病院・老健千束 管理者 山田 隆司
	20:00～	①地域ヘルスプロモーション病院としての各取り組み 台東病院 リハビリテーション室主任 楠本 直紀 総合診療科医師 高橋 麻衣子 ②受動喫煙防止の法的強化—その意義と課題— 公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター センター長 中村 正和
第二部	20:35～	懇親会（意見交換） 開会乾杯の挨拶 台東病院・老健千束 施設長 片見 厚夫
	21:00～	台東病院・老健千束 職員の紹介
	21:15～	閉会の挨拶 台東病院・老健千束 副管理者 藤原 直樹
	21:30	散会



写真1 「地域連携の会」での発表の様子

地域ヘルスプロモーション病院 としての活動報告

1. ヘルスプロモーションとは

最初に、リハビリテーション室作業療法士の楠本直紀主任から、地域ヘルスプロモーション病院として、どのような活動を目指しているのか、これまでの活動の経緯や今後の構想について発表した(写真1)。

ヘルスプロモーションは、健康な人を対象とするだけでなく、病気や障害を抱えた人が自分らしく充実した生活を送れることを支援することを目指す取り組みである。当日の発表では、誰もが自然と歩きたくなる環境づくりを例にあげ、さまざまな専門職がいる病院の特徴を生かし、多様な視点で、医療施設での患者や職員、地域住民の方の生活の質の向上を目指して、台東区を健康にする活動に取り組みたいと述べた。

2. ヘルプロTaitoプロジェクト

続いて、台東病院として取り組んできた街かど健康教室や在宅ケア教室など、これまでの活動をふり振り返りながら、2016年からヘルスプロモーション研究センター(以下、ヘルプロ)および女子栄養大学と協働して活動を始めたこと、それが進展し、2017年4月に院内に健康推進委員会が設置されたこと、その具体的な活動の内容について報告した。

2018年9月には、職員を対象としたワークショップを開催し¹⁾、これからの10年間を見据えて、今までの活動を振り返り、多職種が連携

した新たな取り組みの創出をねらって、多職種が連携する具体的な活動の提案をしたことを紹介した。このワークショップには63名の職員が参加し、「在宅ケア」「認知症ケア」「フレイル予防」「禁煙推進」の4つのテーマで多職種混在のチームを作り、話し合った。今回の地域連携の会では、「認知症ケア」と「フレイル予防」のテーマで提案された活動の一部を紹介した。認知症ケアでは、2018年度から台東区からの委託事業として認知症カフェを開催し、認知症の人や家族、地域の人や専門職と相互に情報を共有する場として活用し、気楽に参加してもらいながら、自然と認知症への理解を深めることができる取り組みを構想していることを紹介した。

フレイル予防では、院内のロビーやリハビリテーション室を住民の通いの場として開放する案を紹介し、誰もが健康で住みやすい台東区を目指して、病院らしさを生かした新たな発信・活動を行っていききたいと抱負を述べた。

3. 患者や職員への禁煙推進や食生活改善支援

続いて、同じく健康推進員のメンバーで禁煙外来を担当している総合診療科の高橋麻衣子医師から、2016年より先行して実施した患者や職員への禁煙推進^{2),3)}や食生活改善支援⁴⁾の取り組みについて報告した。

禁煙外来受診患者の喫煙の実態を調査した結果、禁煙外来受診者の42%が生活保護受給者であり、その方々を禁煙に導くのは困難であったものの、全体としての禁煙成功率は52%と全国平均とほぼ同程度³⁾であったことを報告した。また、外来患者の調査では、喫煙者の2割以上が禁煙に関心があり、病院が組織的に禁煙に取り組もうとしていることへの理解は非常に高かったことを報告した。

職員対象には、地域医療振興協会健康保健組合(JADECOMけんぼ)との共同保健事業として、最新の禁煙治療のエビデンスに基づく禁煙治療プログラムを提供したことを示した³⁾。禁煙治療受診率は22%と他の同様の取り組みと比べて高く⁵⁾、その背景として、健保組合からの費用補助があったこと、勤務終了後に受診時間



写真2 中学校での喫煙防止教育の様子

を設定したこと、プライバシー保護の観点から治療を外部の医師が担当したこと、喫煙本数を減らしながら禁煙できるコースや、治療期間中に禁煙できなくても追加で治療を受けられるコースを設定したことなど、受診者の利便性を高めたり心理的なハードルを下げるなど、受診環境を整えたことが影響したのではないかと説明した。

今後の展開として、整形外科で手術を受ける患者の20%は喫煙しており、喫煙者の術後の合併症を防ぐ観点から、術前からの禁煙支援をクリニカルパスに組み込み、禁煙治療を早期に確実に開始する取り組みを始めることや、2018年から開始した小中学校での喫煙防止教育(写真

2)の継続など、今後、ヘルスプロモーションに取り組む病院として煙のないまちづくりを積極的に推進していくことを発表した。

さらに、職員の健康支援の充実を図る取り組みの一環として、2018年度に職員の食事調査を実施した結果、院内のコンビニを中心とした職場の食環境改善のニーズがあることが分かり、院内の食環境整備に取り組んでいることを報告した。具体的には、商品の品揃えを充実させ、職員のみならず、患者・利用者をはじめとする地域住民の健康に役立つ食と食情報発信の拠点とし、食を楽しむ場として活用していただけるよう院内のコンビニをリニューアルするヘルシーローソンプロジェクトについて紹介した。

発表の最後は、山田隆司管理者、楠本主任、高橋医師がそろって、地域ヘルスプロモーション病院として役割を果たすことを力強く宣言した。

話題提供「受動喫煙防止の法的規制」

第一部の最後に、ヘルプロの中村正和センター長から、「受動喫煙防止の法改正と条例化－その意義と課題－」と題して2018年7月に成立した改

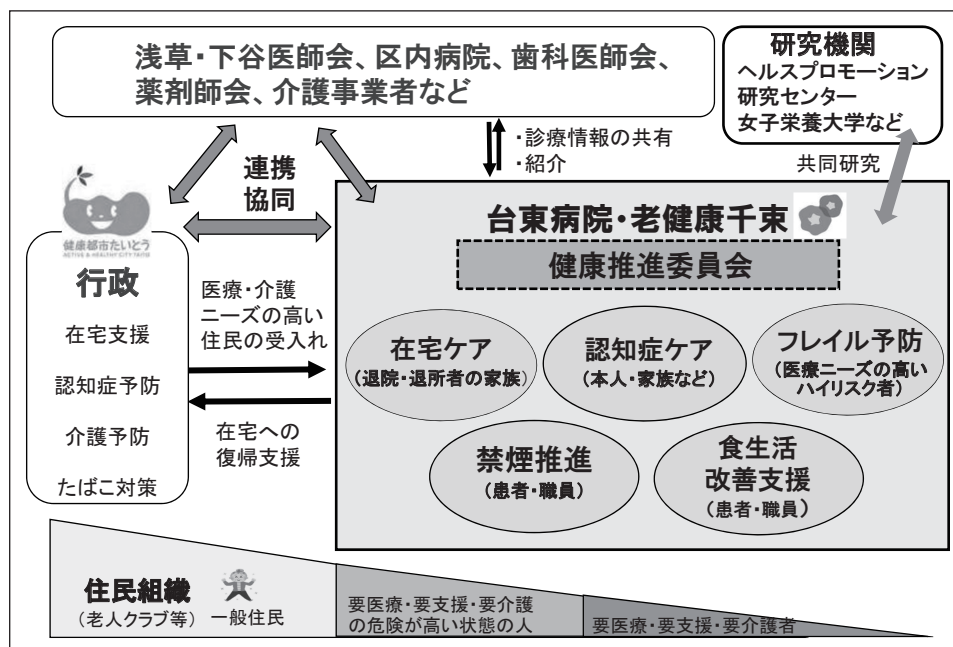


図1 台東病院・老人保健施設千束におけるヘルスプロモーション活動

正健康増進法に関する情報提供を行った。改正健康増進法は国際基準にはまだ不十分であるが、学校、病院、行政機関など公共性の高い施設で国際基準以上の規制が実現するなど、評価できる点がある。しかし、飲食店では半数を超える小規模飲食店が規制の対象外となるなど、労働者の健康を守る点で課題が残る。東京都条例では労働者を雇用している飲食店は小規模であっても例外としていないため、9割近い飲食店が規制の対象となり、改正健康増進法と比較して評価できる、敷地内の喫煙所の設置が可能など、相互に東京都条例と比較しながら解説した。

おわりに

冒頭でも述べたように、台東病院では、2019年度からの台東区からの指定管理において「地域ヘルスプロモーション病院としての取り組み」が3つの運営方針の柱の1つに位置づけら

れた。今後、在宅ケア、認知症ケア、フレイル予防、禁煙推進、食生活改善支援の5つの重点テーマについて、活動を展開することになる(図1)。病院という特徴を生かし、医療施設での患者や職員を対象にした活動と、自治体等との協働による地域住民を対象とした活動が一体となった取り組みを目指している。

参考文献

- 1) 楠本直紀:地域のヘルスプロモーション病院を目指して。月刊地域医学 2019;33:34-38.
- 2) 保科ゆい子, 増居志津子, 嶋田雅子, 他:台東区立台東病院・老人保健施設千東における禁煙推進プロジェクトの活動と今後の展望。月刊地域医学 2016;30:864-868.
- 3) 中村正和, 川畑輝子, 増居志津子, 他:病院職員を対象とした禁煙補助薬の新しいエビデンスに基づいた治療の試み-健康保険組合とコラボした充実した禁煙治療メニューの提供とその効果の検討-。月刊地域医学 2018;32:687-695.
- 4) 川畑輝子, 中村正和:医療・介護施設における職員の食生活改善のための食環境整備に向けて。月刊地域医学 2018;32:1090-1096.
- 5) 中村正和:喫煙者の治療 -禁煙保険治療の現状と展望-。医学のあゆみ 2018;265:847-853.